

クローバー Clover

第34号

平成29年9月

特集

「クローズアップ“女性活躍”」

- ▶ 男性の家事・育児参加が日本を救う?!
- ▶ sukima☆ma取材しました
- ▶ メンズコール / ある日の相談室
- ▶ キラッ☆とよた 講座・セミナーのご案内

「とよた男女共同参画プラン」では人の生涯をクローバーにみたて、それぞれのライフステージを葉の一枚で表現することとし、広く親しんでいただけるよう通称を「クローバープラン」と名づけました。

このクローバーのマークには、どのライフステージにおいても充実した生活を送ることができる「バランスのとれた社会」をめざすという意味合いも持たせています。

キラッ☆とよた(とよた男女共同参画センター)

〒471-0034 豊田市小坂本町1-25

豊田産業文化センター2階

TEL(0565)31-7780 FAX(0565)31-3270

E-mail clover@city.toyota.aichi.jp

ホームページ <http://clover-toyota.jp/>

豊田市

女性活躍シンポジウム たくさんある！とよたの女性が輝く場所 開催レポート

登壇者

紹介

※写真は開催当時のもの



ファシリテーター
石田 路子さん
城西国際大学教授



パネリスト
堀井 奈津子さん
愛知県副知事



パネリスト
坪井 夕香さん
キュービー(株)学母工場
改善企画課長



パネリスト
鬼木 利恵さん
傑eight代表取締役



パネリスト
三木 和子さん
PAYSAN MIKI,
ARTISAN MIKI経営
(ブルーベリー栽培、加工)

参加者の声

もっと社会に目を向け自分らしい生き方をしたいと思って、ワクワクしました！

もやもやした気持ちが楽になりました！

これからの自分の働き方、生き方の参考にしたいです。

このような話を、これからの若い女性や男性にもたくさん聞いてほしい。

今、社会の中では“女性活躍”が注目されています。

豊田市では、平成29年3月「豊田市女性活躍推進計画」を策定し、計画のキックオフイベントとして、4月16日(日)に「女性活躍シンポジウム～たくさんある！とよたの女性が輝く場所～」を開催しました。ここでは、シンポジウムや計画のご紹介をとおして、女性活躍がもたらすものについて考えます。

豊田市女性活躍推進計画 ご紹介

職業分野における女性の能力や希望に応じた活躍を支援するため、市の取組をまとめた「豊田市女性活躍推進計画」。ここでは、女性活躍に関する豊田市の特徴とそれに対応する取組について、ポイントを絞ってご紹介します。

豊田市の特徴

女性の就労

- 結婚・出産を機に離職し、再就労する女性が多い。離職期間が長いほど、再就労に対する不安増。
- 「働く女性」の身近なロールモデルが少ない。

事業所

- 人材確保に向けて、多様な人材が活躍できる環境整備の必要性増。

市の取組

- 「女性活躍総合窓口」設置検討中！「また働きたい」意識の掘り起し段階から「いざ就職！」の段階まで、女性の多様な活躍を一元的に支援します。
- 「働く女性の交流会」等、各種セミナーを実施予定です。
- 「働き方改革を進めたい」事業所の個別ニーズに応える！市内事業所訪問/アドバイザー・講師派遣/優良事業所表彰制度等を実施しています。 etc…

働く人が、仕事と私生活をともに充実させながら能力を生かして活躍するためには、「本人の意欲」と「事業所による働きやすい職場づくり」、その両輪がうまく回る事が重要です。

豊田市は、これからも前向きに取り組む市民や事業所の皆様を応援します！



「豊田市女性活躍推進計画」さらに詳しい内容はこちら！

“女性活躍”がにわかにアツい！ということとは…？

「女性」とか「活躍」とか…もうお腹いっぱいだ！という声が聞こえてきそうです。

今、社会の中で機運が高まっている“女性活躍”は、単に「女性だけを優遇し、支援する」「無理やりでも女性管理職の割合を増やす」というような話ではありません。

共働き世帯の増加、労働力不足等社会状況が変化している中で、「仕事と家庭の両立」＝女性の問題、「社内での能力開発、スキルアップ」＝男性の問題、ではなくなってきています。皆様の周りに、「もう少し家族との時間をもちたい」と思っている男性はいませんか。「実は仕事と介護の両立に不安を感じている」従業員はいませんか。「チームリーダーをやりたい、未経験の仕事にもチャレンジしてみたい」と思っている女性はいませんか。そんな声を一つひとつ拾って改善を重ねていくことが、女性だけではなく、従業員全員にとって活躍しやすい環境整備につながります。

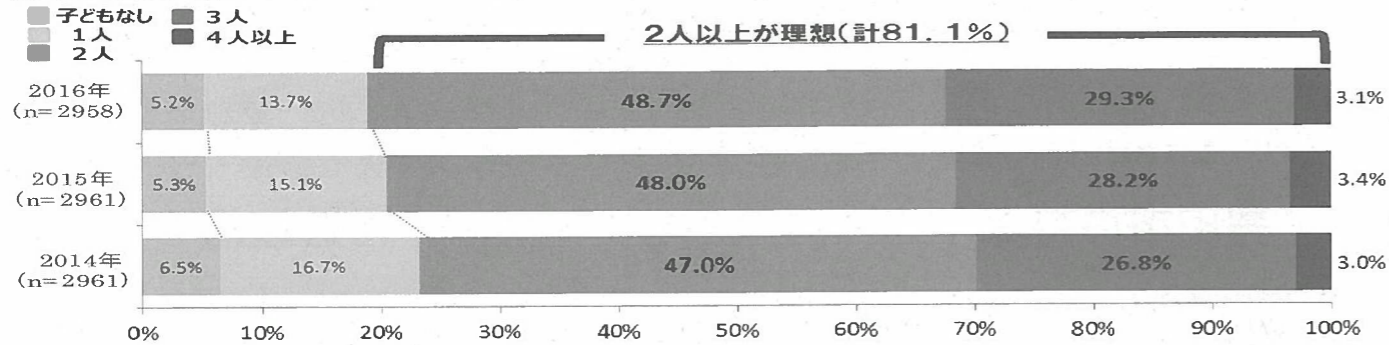
女性が活躍できる社会は、男性をはじめあらゆる人に優しい社会なのです。“女性活躍”がアツい！今こそ、できることから少しずつ取組を始めてみませんか。



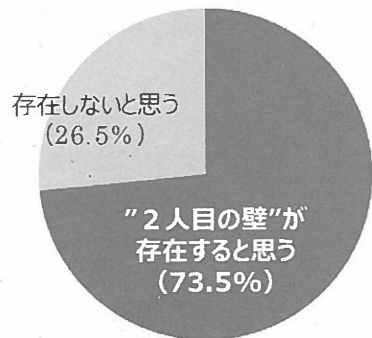
男性の家事・育児参加が日本を救う？！

2人目の壁とは？！子どもの人数に存在する理想と現実のギャップ

Q. あなたは何人の子どもを持ちたいと考えていますか？ 実際の予定ではなく「理想の」合計人数を教えてください。



Q: あなたご自身のご家庭を考えた時に、『2人目の壁』は実際に存在すると思いますか？



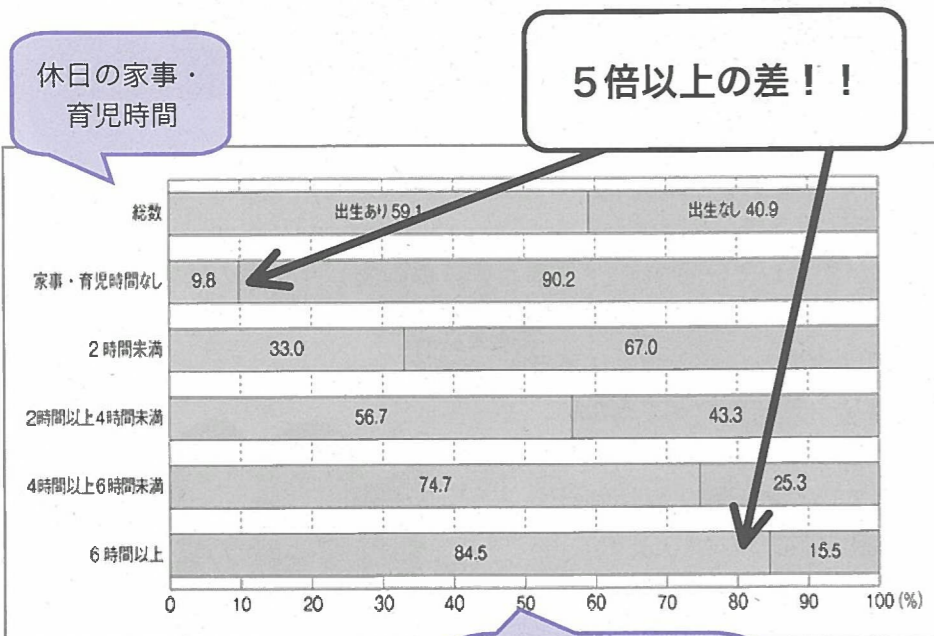
一般財団法人1moreBaby応援団が子育て世帯を対象に実施した「夫婦の出産意識調査」において、「持ちたい子どもの理想の合計人数」を聞いた質問に対して「2人以上を希望する」と回答した人の割合が全体の81.1%にのぼるという結果が出ました。

一方で、第2子以降の出産をためらう『2人目の壁』が「存在する」と答えた人は全体の73.5%で、子どもの人数について、理想と現実のギャップがあることがわかります。

原因については、経済的な理由を挙げる人が最も多く、次に年齢的な理由が続きますが、3番目に多い原因として、「第一子の子育てで手一杯」という声も多く、子育てへの負担感が不安の要因の一つとなっているようです。

実は関係性あり？！男性の家事・育児参加と出生率

夫の休日の家事・育児時間別にみたこの12年間の第2子以降の出生状況



第2子以降の出生があった割合

厚生労働省が実施した調査において、子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの12年間の第2子以降の出生状況をみると、**夫の家事・育児参加時間が長くなればなるほど、第2子が生まれやすい傾向にあることがわかります。**

中でも、「家事・育児時間なし」の家庭と「6時間以上」の家庭を比較すると、**5倍以上も差があります。**

核家族化が進んだこともあり、自分1人で家事・育児を担わなくてはならないと感じる女性が多く存在している中で、**夫の協力が得られることが2人目の出産に踏み切る勇気となっているのかもしれない。**

ちなみに、日本における6歳未満の子どもを持つ夫の家事関連時間平均は1日当たり67分となっており、先進国の中では最低の水準にとどまっています。

家族にクローズアップ！第2子が産まれたとき、家族は…第2子出産時に育児休業を取得した男性にインタビュー



(株)TBエンジニアリング 技術部 シートグループ チームリーダー 荒川 雅之さん

Q 育児休業取得のきっかけ

- ・以前から会社ではワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みに前向きで、会社方針への折込みや社内報などを通じて制度を周知し、積極的な利用を呼び掛けています。また、トップより制度に対する想いを聞いたことがきっかけとなり、3か月間取得しました。
- ・制度を利用した先輩社員から体験談を聞いてやりがいがありそうだと思います。また、職場には育児に協力的な雰囲気があるため、2人目の誕生の際には取るうと決めました。

Q 家族、会社の反応

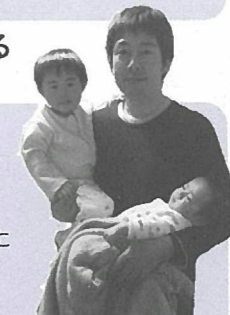
- ・妻は育児休業を取得してくれることは嬉しいけれど、会社での立場や昇進に影響しないか心配のようでした。
- ・一方、会社ではチーム体制の見直しや業務の整理等ありましたが、職場の理解と協力により、取得に向けた準備がしっかりとできました。

Q 育児休業中苦労した点、良かった点

- ・最初の数日間、環境の変化に慣れるのが特に大変でした。上の子の面倒は私、下の子は妻と役割分担をしましたが、最初は夜に「ママと寝たい」と言われ、絵本を読んだりしてなだめ、ようやく一緒に寝てくれるような状況でした。
- ・物理的な大変さというよりは、家事・育児には終わりがなく、休憩もない、体調不良も関係ないというのが大変だと思います。
- ・良かった点としては、上の子との絆が本当に強くなったことです。上の子が初めて「パパと寝る」と言ってくれた日のことは今でも忘れられません。
- ・家事、育児の大変さは自分が主体となって行い、初めて理解できるのかなと思います。第2子を迎えるという大きな節目に家族と一緒に過ごすことができてよかったと思います。

Q これから2人目を迎える家族へメッセージ

- ・2人目が生まれて大変なこともあります。幸せは想像以上でした。兄弟で遊んでいる姿をみると子どもが2人いて良かったと心から思います。
- ・子育ては、母親だけの仕事と思わず、父親はもちろんのこと、周囲（祖父母や兄弟、友達、地域など）の子ども達をとりまくみんなが協力してできるといいなと思います。



家族あるある4コマ
それ行けヒロ君
「夫が家事をすると…」
by おり



妻からしてみたらツッコミどころ満載かもしれないけれど、夫なりに家族を思っている行動です。まずは「ありがとう！」の一言を。

sukima☆maさんを 取材しました



家事に育児に毎日とっても忙しいママ。
その忙しい毎日の中の、ちょっとした隙間時間をキラキラと輝く自分時間に行っているsukima☆ma（スキママ）さんをご紹介します。



妻として母としてもっともっと輝きたい！

だからこそ「自分」としての次のステップに踏み出しました。

sukima☆maは、野菜のレストラン「ほがらか」取締役山中佳織さんのアイデアにより、レストランの厨房や道具の未使用時間帯を利用し、自身が企画したお弁当を作ってスーパーへ売り出す仕事をしているお二人です。



自慢のお弁当を持って
すなおさん(左)とあゆみさん(右)

sukima☆maはどんな意味ですか？

時間のsukima☆。
場所のsukima☆。
道具のsukima☆。
価値あるさまざまなsukima☆（隙間）をうまく使いながら、子育てで忙しいママの知恵とアイデアで世界を広げたいという意味が込められています。

なぜsukima☆ma活動をするようになったのですか？

お店で働く女性が結婚出産を経て、それまでとは違って自分だけのために使える時間に限りが生じました。そこで、母であることを最優先しながら、持っている才能を最大限生かすにはどうしたらよいか考えたのがきっかけです。（山中さん談）

お弁当とおにぎりのラッピング



どんな活動？～sukima☆ma1日のスケジュール～

起床	朝食の準備・子どもと遊ぶ・家事。
8:00～9:00	子どもの送り出しを終え、ほがらかに到着。
9:00～14:00	まずは定番のお弁当を作りながら、使いそうなsukimaグッズや食材を物色&吟味！ 使えるもののチェック後、sukima弁当の構想を練り、いざ調理、ラッピング。
14:00～15:00	時間はざっくり、その日の都合で柔軟に。仕事の切りがいたら子どものお迎えへ。

活動して思うことは？

子育てをしながら「働くことを追加する」という行動変化は、大きな決断ですが、母親業を優先しながらも、使える時間を考えながら小分けして使うことで、時間のやりくりが上手になり、結果的に今までよりも効率的に色々なことがこなせるようになりました。



「会社の完全シフト制で月曜から金曜9時～15時でパート勤務」という固定的な働き方だけじゃない、sukima☆maさんのような多様な雇用のカタチがありそうですね。

まさに「働き方改革」です。

その日にやるべきことがきちんとできれば、始業と終業の時間が多少ずれても、特に問題はないかもしれません。1日のうちのどこか2時間だけなど、様々な雇用スタイルの可能性がありそうです。みなさんの会社でもそんなスタイルについて、考えてみませんか？

男性のための電話相談室

メンズコール☆とよた



「メンズコール☆とよた」は、平成18年に愛知県内初の男性のための電話相談室として開設され、以来、常に相談者に寄り添ってきました。

“男だからこうあるべき”という固定観念や思い込みから「誰かに相談しづらい」「我慢して当然だ」と悩みや不安を自分一人で抱え込んでしまうことがあります。

悩んだときやつらいときには、自分や周りの誰かが傷つく前に「メンズコール☆とよた」に電話してみませんか。

自分のための
リフレッシュ
もしたい！
(+_+)

(0565)
37-0034



不安定な雇用の中で
働くストレス(@_@)

妻からの家事・育児
のプレッシャーが
(T_T)

男性だって仕事と家庭
のバランスに悩む
(>_<)

職場の無理解や
低評価(-_-)

秘密厳守・無料・匿名可
※男性相談員が対応します
相談日 毎月第2・4金曜日
18:00～20:00
(年末年始・祝日休み)

—ある日の相談室—

(内容は、相談事例をもとに創作したものです)

大学を卒業し、第一希望の会社ではないものの無事に就職でき、4月から仕事に就き、早く戦力になるよう自分なりに努力しています。しかし、新人ということに加え、もともと器用なタイプではない僕は仕事がスムーズにいかないこともあり、職場の先輩に叱られてばかりです。しっかりやろうという意志はあるのですが、うまくできるか不安になったり、周りに聞くのは男らしくなくカッコわるいような気がして、思うように仕事できません。友人も少なく、休日に行くところもないため部屋で寝てばかりです。趣味があるわけでもないし、生活することに張り合いができません。どうしたらよいでしょうか。



～相談員より～

学生から社会人へ、新生活で何もかもが新しくなった時です。仕事も、就いてまだ数か月しか経っておらず、思うように仕事が進まない不安に感じますね。誰でも最初はわからなくて当たり前。わからないことや疑問に思うことは、男性でも女性でもどんどん先輩や上司へ質問してもよいのでは。頑張る意欲、謙虚な姿勢を忘れず、誠意をもって早く覚えたい気持ちを伝えてみてはどうでしょうか。早く戦力になりたいというあなたの思いが伝われば、少しずつ周りとの関係も変化があるかもしれません。

講座・セミナーのご案内

あなたのイライラを楽にする読書会講座

【開催日】10月5日(木) 【対象】女性

読書の秋です。キラッ☆とよたの本やお気に入りの本を活用してすてきな秋のひとつときを。

女性のための無料法律相談

【開催日】11月9日(木) 【対象】女性

女性が抱える様々な問題に、弁護士が法律の視点でアドバイスします。

子育てのアンガーマネージメント

【開催日】11月25日(土) 【対象】夫婦・カップル

夫婦で「子育て」に活かせる「イライラ」への対処法を学びます。

豊田おもちゃの図書館とよちゃんライブラリー共催 「親子であそぼう！」

【開催日】12月 【対象】親子

人形劇やおもちゃ遊びなど、親子で一緒に楽しい時間をすごしましょう。

育休女性のステップアップ

【開催日】1月 【対象】女性

あなたはどの働き方？復職の不安をなくし、目標を立てましょう。

女性のための薬膳茶講座

【開催日】10月21日(土) 【対象】女性

薬膳茶をいただきながら、女性特有の身体の症状に向き合うためのセルフケア術を学びます。

男を磨く ファッション&コミュニケーション

【開催日】11月19日(日) 【対象】男性

内と外の両面を磨いて、新しい自分を発見しましょう！

DV防止月間 DVをみんなで考えるセミナー

【開催日】11月 【対象】どなたでも

あなたもわたしも誰もが大切なひとり。DVについて一緒に考えます。

夫婦で学ぶ ファイナンシャルプランニング

【開催日】1月 【対象】夫婦・カップル

「男は仕事、女は家庭」と決める前に知っておきたいお金の話。

ホテルシェフが教える!男のたしなみ料理

【開催日】1月 【対象】男性

プロに学ぶ料理のコツ!今回は本格的な洋食に挑戦します。

上記講座は開催を予定しているものです。内容・開催日は変更になる場合があります。

それぞれの講座の詳細および募集については、広報とよた(毎月1日・15日発行)、キラッ☆とよたホームページに掲載するほか、市役所や各支所・交流館などにチラシ・ポスターを設置してお知らせします。

女性のための電話相談室 ひとりで悩まないで・・・

「クローバーコール」

(0565) 33-9680

毎週火・木・金・土

10:00~16:00

毎週水

10:00~13:00

16:00~19:00

年末年始・祝日休み

女性相談員が対応します

面接相談あり(要予約)

編集後記

特集の女性活躍シンポジウムでは、会の終了後も参加者の皆さんがとても熱心に登壇者に質問している様子が印象的でした。豊田市の女性のパワーに可能性を感じます。

今後も、もちろん女性だけでなく男性も、誰もがキラッ☆と輝く社会を目指して取組を進めていきます。

キラッ☆とよた(とよた男女共同参画センター)のご案内

アクセス

名鉄豊田市駅から徒歩8分
愛知環状鉄道新豊田駅から
徒歩3分

開館時間

9:00~21:00
日曜日は17:00まで
月曜日休館
(祝日は17:00まで開館)

夜間も開館しています!
お仕事帰りにも
ぜひお立ち寄りください

